

承認された。

12. 総会議案の決定（亀高常務）
総会の議案内容について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

監事コメント

（山本監事）新会員管理システムの導入や各種規則の制定が進められており、学会運営は効率化していると評価している。会員数の減少が見込まれる中、運営や会員サービスが損なわれない範囲で、今後も効率化をすすめてもらいたい。

（岩部監事）若手活動が活発になっており、学生等に良い影響が広がっていると思う。シニア会員向けの内容も具体的な検討を進めて、シニアの活躍の場を作ってほしい。様々なリクエストや考え方を上手に汲み取って、活動・活躍の場を作り、会員の満足度を上げてもらいたい。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長、副議長および出席監事、理事は次に記名・捺印する。

2025年5月14日
一般社団法人日本地質学会
理事：議長 高野 修
理事：副議長 野田 篤

代表理事：会長 山路 敦
理事：副会長 杉田律子
理事：副会長 星 博幸
監事：山本正司
監事：岩部良子
理事：出席理事名（省略）

2024年度 第11回執行业務会議事録

日程：2025年4月19日（土）10:00-12:14

【WEB会議】

出席：山路 敦、杉田律子、亀高正男、岩井雅夫、内尾（保坂）優子、大坪 誠、尾上哲治、加藤猛士、小宮 剛、坂口有人、高嶋礼詩、細矢卓志、松田達生、矢部 淳、山口飛鳥

監事：岩部良子

欠席：星 博幸、内野隆之、辻森 樹、山本正司（監事）

事務局 澤木

*定足数（過半数：10）に対し、執行业務15名の出席

*前回24-10議事録案は、本執行业務会にて承認された。

報告事項（理事会報告の確認）

1. 全体的報告

・3/18（火）第16回 地理学連携機構、地理関連学会連合、人文・経済地理関連学会協議会合同総会参加報告（亀高常務出席）。

大学共通テスト科目「地理総合」・「地理探究」の動向や3団体の一本化などの議論があった旨報告があった。

2. 運営財政部会（加藤・細矢）

1) 総務委員会

＜共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等＞

・科学技術振興財団より「青少年のための科学の祭典2024」の終了報告があった（日本地質学会後援）。2024/6/8-2025/1/26開催、来場者総数120,399名。

・科学技術振興財団より「青少年のための科学の祭典2025」各大会（2025/6/14-2026/1/25、全国29都道府県42会場で開催）への後援依頼があり、承諾した。

・地質調査総合センターより令和7年度運営体制の挨拶があった。センター長：中尾信典、副総合センター長：藤原 治（新任）ほか。

＜会員＞

1. 今月の入会者：賛助会員1社、正会員8名（一般2、シニア1、学生5）

賛助会員：株式会社地球科学総合研究所

正会員一般：黄 文成、片桐貴浩

正会員シニア：堀越 徹

正会員学生（単年度2名、2年バック1名、3年バック2名）：佐野友洋、辻 光彦、若山和真、窪田虎太郎、本田 花

2. 今月の退会者：なし

3. 今月の逝去者：1名

正会員シニア：橋本邦俊（逝去日：2025年2月21日）

4. 2025年3月末会員数

賛助36、名誉34、ジュニア会員6、正会員3022〔内訳 一般1935、シニア818、学生269〕、合計 3098（昨年比+3）

5. 2025年度永年会員顕彰者（89名）

70年：2名、60年：6名、50年：42名、40年：39名 を回覧資料で氏名にて確認した。

6. 前回（12/14）理事会以降の逝去者氏名（6名）（ ）の日付は逝去日

名誉会員（1）杉村 新（2025年3月1日）

正会員シニア（4）千代田厚史（2021年6月4日）、古川克彦（2024年11月27日）、徳山英一（2025年1月13日）、橋本邦俊（2025年2月21日）

正会員一般（1）松原尚志（2025年3月6日）

7. 年度末退会者&除籍者

①2024年度末退会者（81名）、②2024年度末除籍者（48名）を当日回覧資料にて氏名を確認した。

＜会計＞特になし

＜その他＞

・学術大会参加登録費改訂：一般会員の事前登録費を6000円→8000円に改定予定。そのほかの下院種別についても改訂する。ただし、学部学生、名誉会員については据え置き。

・フィールドノート増刷：一定の仕様を維持しつつ、紙質を見直し3000部発行、販売価格1000～1100円で進める方針。

・TEAMSによるファイル共有：ファイル共

有用ストレージとして6月の総会以降、各種委員会、専門部会からの申請に基づき順次開設予定。

3. 広報部会（坂口・内尾・大坪・松田）

1) 広報委員会（坂口・内尾）

・学会ウェブサイトのリニューアル進捗について：仮サイトが完成し、最新情報表示、スマートフォン対応などの機能が実装済み。今後コンテンツ精査と微調整を進行予定。

・SNS（旧Twitter）のフォロワー数が会員数を上回ったことについても報告された。

4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

1) 行事委員会（高嶋・山口）

・熊本大会では巡検案内書が順調に進行中。トピックセッションはすべて採択済み。

・金沢大会はLOCが組織され、巡検案も進行中。

2) 専門部会連絡委員会（尾上）

2024年の活動報告について14部会から活動報告を受領。構造地質部会からは未提出（→会議後提出）。

3) 国際交流委員会（辻森）

特になし

4) 地質標準化委員会（内野）

特になし

5) 学術戦略WG（尾上）

特になし

6) ショートコースWG（山口）

特になし。

5. 編集出版部会（小宮・辻森）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

（1）編集状況報告（2025年4月16日現在）

・2025年投稿論文：16（昨年比+4）〔内訳〕総説1（和文1）、論説8（和文8）、報告1（和文1）、レター2（和文2）、ノート1（和文1）、巡検案内書3

査読中31、受理済み1、入稿・校正中9、公開4

2) Island Arc編集委員会（辻森）

インパクトファクターが1.2程度となる見込みとの報告。

3) 企画出版委員会（小宮）特になし。

6. 社会貢献部会（矢部・岩井・坂口）

1) 地学教育委員会（岩井）

大学入試センターへの意見書原案を作成・配布済。特段の意見がなかったため提出予定。

2) 地質技術者教育委員会（加藤）

シンポジウム報告およびYouTube公開の案内。

3) 生涯教育委員会（矢部）

理事会で「地質の日」イベント（5月予定）について宣伝予定。

4) 地震火山地質こどもサマースクール（岩井）

特になし

5) 地質の日（矢部）

・5/10（土）「地質の日」オンライン一般講演会について、坂口理事に協力いただき添付のチラシを作成しWebページ等での広報を行なっている。13の関連学協会に広報

協力を依頼。

- ・5/11（日）街中ジオ散歩in Chiba「身近な地形・地質から探る稲毛海岸の歴史」の申し込みを4/15に締め切った。20名の応募があった。
- ・惑星地球フォトコンテスト第16回ほか入選作品展示会を東京パークスギャラリー（上野）で実施予定（5/13-25）。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

- 1) 利益相反マネージメント委員会（亀高）特になし
- 2) 若手育成事業検討WG（内野）特になし
- 3) 表彰制度検討WG（亀高）特になし
8. 理事会の下に設置される委員会
- 1) ジオパーク支援委員会（矢部）
- ・日本ジオパーク学術支援連合（JGASU）への学会選出委員について、委員の任期満了に伴い、天野一男氏（ジオパーク支援委員会委員長）を選出した旨報告（留任）。任期は2025年5月1日～2027年4月30日。
- 2) 地学オリンピック支援委員会（坂口）特になし
- 3) 支部長連絡会議（杉田）特になし
- 4) 地質災害委員会（松田）特になし
- 5) 名誉会員推薦委員会（星）本年度の推薦応募はなし
- 6) 各賞選考委員会（亀高）特になし
- 7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（山口）特になし
- 8) 法務委員会（亀高）特になし
- 9) 若手活動運営委員会（星）活動報告および今後の計画について理事会で説明予定。

9. 研究委員会

- 1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）特になし
- 2) 法地質学研究委員会（委員長 川村紀子；杉田）特になし

審議事項

1. 地質学雑誌等デジタルアーカイブ化について（尾上）

地質学雑誌のデジタルアーカイブ化に関して、1956～1983年の論文を対象に英語アブストラクトのテキスト化およびアーカイブ化を、1984～1998年の論文を対象に英語アブストラクトと日本語抄録のテキスト化およびアーカイブ化を行い、J-STAGE上に整備する方針が了承された。テキスト化にかかる費用については本年度予算に計上し、本日の理事会において審議・検討を進めることとなった。

2. 高等学校教科書（地学関係）に関する説明・意見交換会の開催について（星）

2025年熊本大会において、高等学校教科書（地学関係）に関する説明および意見交換会を、ランチョン等の形式で開催する方向で検討を進めることとなった。

3. 地球・資源分野JABEE委員会の事務局機能の引継ぎ（加藤）

JABEE委員会の事務局を地質学会事務局内に設置し、JABEEおよび構成学会との連携事務ならびに本委員会の運営事業を担う方向で検討を進めることとなった。活動の遂行に際しては、地質学会の財政や事務局への過度な負担が生じないよう、十分に配慮する。

4. シニア会員の活動について（杉田）

シニア会員が活躍できる場を創出・提供するため、今後、各担当業務部会において検討を進めることとした。

5. 理事会資料の確認（亀高）

議事次第ならびに報告事項・審議事項・審議資料の内容について確認を行った。

監事コメント

（岩部）本日の審議事項等に特段のコメントはなく、午後の理事会を経て総会に向けた準備を進めてほしいとの発言があった。

以上

2025年5月14日

一般社団法人日本地質学会
会長（代表理事）山路 敦
署名人 執行理事 亀高正男

2024年度 第12回執行理事会議事録

日程：2025年5月14日（土）18:30-00:00

【WEB会議】

出席：山路 敦、杉田律子、星 博幸、亀高正男、内野隆之、岩井雅夫、内尾（保坂）優子、大坪 誠、加藤猛士、小宮剛、坂口有人、高嶋礼詩、細矢卓志、松田達生、矢部 淳、山口飛鳥

監事：岩部良子

事務局 澤木

欠席：辻森 樹、尾上哲治、山本正司（監事）

*定足数（過半数：10）に対し、執行理事16の出席

*前回24-11議事録案は、本執行理事会にて承認された。

報告事項（理事会報告の確認）

1. 全体的報告

・125周年記念出版物「はじめての地質学（2017年9月発行）」の増刷が決定した。6刷、500部。累計9200部。

2. 運営財政部会（加藤・細矢）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等>

・第68回粘土科学討論会（2025/9/10-12、産総研臨海副都心センター）への協力依頼があり、後援として承諾した。

・科学教育研究協議会第71回全国研究大会東京大会（2025/8/8-10、中央大学附属中学校・高等学校）への後援依頼があり、承諾した。

・2025年度日本地球化学会第72回年会（25/9/17-19、東北大学川内北キャンパス）への共催依頼があり、承諾した。

・京都大学工学部水曜会より「水曜会誌」休刊の連絡があった。

<会員>

1. 今月の入会者：正会員学生2名

正会員学生（3年バック（2名））

中澤栄子、石垣暁正

2. 今月の退会者：3名

正会員一般（3）

玄田貴之、松崎 西、固本悠杜

3. 今月の逝去者：1名

正会員シニア（1）

有川隆一（逝去日：2025年4月14日）

4. 2025年4月末会員数

賛助：37、名誉：34、ジュニア会員：6、正会員：3033〔内訳 一般954、シニア891、学生188〕 合計 3110（昨年比-2）

<会計>

・5/16の週に会計および業務監査を実施予定。

<その他>

・関東支部城ヶ島巡検（5/31-6/1）と清澄FC（8/25-30）への学生半額補助適用希望があった。

3. 広報部会（坂口・内尾・大坪・松田）

1) 広報委員会（坂口・内尾）

・ジオルジュ 2025年前期号がまもなく発行予定。5月号ニュース誌と合わせて会員へ配布する。

4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

1) 行事委員会（高嶋・山口）

・2025熊本大会巡検のコース一部変更：Aコース（阿蘇火山：カルデラ形成噴火と後カルデラ活動、案内者 宮縁育夫・星住英夫）のコース内での小規模な変更が提案された。巡検費用については変更なし。（変更理由）露頭の状況が以前と変化しているのと、全体的な時間を考慮して、行程を変更する必要が生じた。

2) 専門部会連絡委員会（尾上）

特になし

3) 国際交流委員会（辻森）

特になし

4) 地質標準化委員会（内野）

特になし

5) 学術戦略WG（尾上）

特になし

6) ショートコースWG（山口）

特になし

5. 編集出版部会（小宮・辻森）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）